

平成 30 年 7 月豪雨における J A グループ支援隊の取り組み状況について

平成 30 年 9 月 6 日現在
全国農業協同組合中央会

1. J A グループ支援隊の概要

- J A グループ支援隊とは、全国の J A ・ 連 合 会 ・ 中 央 会 役 職 員 から 構 成 さ れ た、災 害 復 旧 支 援 の た め の ボ ラ ン テ ィ ア。主 に 被 災 し た 農 家 や J A の 施 設 等 の 復 旧 作 業 を 行 う。
- 大 規 模 な 災 害 が 発 生 し た 際 に、被 災 県 の 要 請 を 受 け て 派 遣 を 決 定 し、参 加 者 を 全 国 から 募 る。ま た、同 様 の 取 り 組 み の 県 内 版 と し て、被 災 し て い な い J A ・ 県 連 から 被 災 J A へ 職 員 を 派 遣 す る 県 支 援 隊 も あ る（今 般 の 豪 雨 災 害 で は 岡 山 県、広 島 県、愛 媛 県 が 県 支 援 隊 を 実 施 し て い る）。
- J A グループ で は こ れ ま で、東 日 本 大 震 災 で 延 べ 約 11,000 人 日、熊 本 地 震 で 延 べ 約 5,000 人 日、そ の 他、豪 雪 災 害 等 に 対 し 支 援 隊（ボ ラ ン テ ィ ア）の 派 遣 を 行 っ て き た（※ 人 日 = 派 遣 人 数 × 作 業 に 従 事 し た 日 数）。
- 現 在 は J A 広 島 中 央 会、J A 愛 媛 中 央 会 の 要 請 を 受 け、両 県 内 の J A 等 に 対 し て 支 援 隊 の 派 遣 を 実 施 し て い る。
- 職 員 の 派 遣 元 の J A に つ い て は、東 日 本 大 震 災 や 熊 本 地 震 等 で 全 国 か ら の 支 援 を 受 け た J A が 多 く 参 加 し て い る こ と が 特 徴 で あ る。

2. 広 島 県 へ の 派 遣

- 中 部 ラ イ ス セ ン タ ー（J A 広 島 中 央）、坂 町 ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー（J A 安 芸 管 内）に 延 べ 50 人 日 の 派 遣 を 行 っ た。中 部 ラ イ ス セ ン タ ー で は 施 設 内 に 流 入 し た 土 砂 ・ が れ き の 撤 去 を、坂 町 で は ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー を 通 じ て、坂 地 区 内 の 住 宅 に 流 入 し た 土 砂 ・ が れ き の 撤 去 を 行 っ た。
- 9 月 中 旬 以 降 も、現 地 の 要 請 に も と づ き、支 援 隊 を 派 遣 す る 予 定 と な っ て い る。

【広 島 県 へ の 支 援 隊 派 遣 実 績】

派 遣 先	派 遣 元	延 べ 人 日 数	作 業 内 容
中 部 ラ イ ス セ ン タ ー （ J A 広 島 中 央 ）	全 国 連	25 人	施 設 内 土 砂 ・ が れ き 撤 去
坂 町 内 の 住 宅 （ J A 安 芸 管 内 ）	全 国 連	25 人	住 宅 内 土 砂 ・ が れ き 撤 去

3. 愛媛県への派遣

- 宇和島市内（J A えひめ南管内）、大洲市内（J A 愛媛たいき管内）の柑橘農家に、延べ 135 人日の派遣を実施している。園地に流入した土砂・がれきの撤去や、ミカンの摘果作業などを行っている。
- 引き続き、被害の大きな 7 J A（J A おちいまばり、J A 松山市、J A えひめ中央、J A 愛媛たいき、J A にしうわ、J A ひがしうわ、J A えひめ南）を中心に約 250 人日の派遣を行う予定となっている。
- なお、特に愛媛県内の支援先は柑橘の圃場が多い。園地は傾斜地にあり、作業にも一定の経験が求められることから、同じ柑橘産地である熊本県から派遣された職員が多く対応にあたっている。

【愛媛県への支援隊派遣実績】

派遣先	延べ人日数	作業内容
宇和島市内の柑橘農家 （J A えひめ南管内）	117 人日	施設内土砂・がれき撤去
大洲市内の柑橘農家 （J A 愛媛たいき管内）	18 人日	ハウス内内張ビニール撤去

4. 被害・作業の様子

(1) 広島県



半壊したライスセンター（J A 広島中央）



地域住民の成果再建に向けた支援（J A 安芸管内）

(2) 愛媛県



土砂崩れによりパイプが剥き出しになった園地



支援隊による土嚢袋の運搬作業

以上